



「石

は、人の心をそつと癒やす地球からの贈り物です」柔らかな笑顔でそう語るのは、天然石ショップ「エメラルドエマ」を運営する冥賀都子さん。

アメリカ、フランス、ドイツ、タイ、チェコ。2、3カ月おきに海外へ買い付けに出向き、心ひかれた天然石だけを厳選して仕入れ、仕立てたアクセサリーは全国のお客様さまの元へ届けられます。

華やかに活躍する女性起業家の冥賀さん。けれど、ここまでの道のりは決して順風満帆ではありませんでした。以前、別の仕事で忙しく働く中で「私が本当にやりたいことって、何だろう」と胸に浮かんだモヤモヤ。元々、天然石が好きで、アクセサリー作りが趣味だった冥賀さんは、「人生後悔したくない」と37歳で安定した職を手放し、未知の世界へ飛び込みました。知識も人脈もゼロ。失敗もたくさん重ねましたが、石への情熱だけは消えることがなかったそうです。

輝きは、いつもあなたの中にある

キラリ話題の人

みょうが 冥賀 さんと
都子 さん

・天然石アクセサリー作家
・「ヒーリングフェスティバル・佐野」
実行委員長（2012年～2015年）



そして、より良い石を見極めるため資格を取得するなど努力を積み重ね、少しずつ夢が形になっていきました。

起業から16年。「初めはうまくいかなかったばかりで、想像以上に大変でした。それでも家族や友人、仕事仲間の温かな支えがあったからこそ乗り越えられました。本当にたくさんの人に助けられ、感謝の気持ちでいっぱいです。」

今の冥賀さんの原動力は、世界のミネラルショー（天然石・鉱物が集まる大規模展示会）で出会う石たちと、お客さまとの温かいご縁。今後の夢を伺うと、「どんな小さな一歩も、信じて進めば道は開けます。皆さんが幸せでありますように」と笑顔で語ってくださいました。

今年も冥賀さんは、石を通じて誰かの挑戦に優しくエールを送り続けます。

（市民記者 関口麻里）

ようこそ 市長室からこんにちは

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、今年は第2次佐野市総合計画が後期基本計画へ移行する、本市にとって重要な節目の年となります。これまでの取り組みと成果を引き継ぎつつ、良いものは継承し、変えるべきものは大胆に変えていくことで、新たな挑戦に取り組んでまいります。

まず、防災力向上に向けては、県内最多と発表のあった孤立可能性集落の実態を把握し、関係機関と連携強化を図るほか、平時利用できるトイレトレーラーを道の駅どまんなかたぬまに設置することで、非常時への対応策を強化します。

また、地域経済の成長と雇用創出を目指し、産業団地の整備を進めるとともに、重点促進区域においては、引き続きトップセールスを実施しながら企業誘致を進めてまいります。さらに、地域経済の循環

を促すため、昨年導入したデジタル地域通貨「さのまるペイ」を、より価値のある通貨として定着を図ってまいります。

子育て支援としては、第2子以降の保育料・副食費の無償化などを継続して実施するとともに、国や県と連携し、小学校の給食費無償化に向け準備を進めてまいります。そして、シニア世代の社会参加を促進するとともに、いきいきとした生活を支援するシニア世代向けワンストッププラットフォームの設置に向けた検討も進めてまいります。

先月には、市民の皆さまの健康寿命延伸などを目的に、「運動習慣応援プロジェクト」を開始しましたので、ぜひご参加いただければと思います。

今年も、人とのつながりを大切にしなが、持続可能な「佐野市」の実現に向けてさまざまな取り組みを推進してまいりますので、皆さまのご支援ご協力をよりしくお願い申し上げます。

佐野市長
金子 裕





豊かな自然は佐野市の宝

知っていますか？珍しい植物「マヤラン」
周囲に山や森が多い佐野市。昨年の夏、近所の山を歩いていたとき、珍しい花を見つけました。

葉がないのに花だけが咲くその植物は「マヤラン」といい、非常に珍しいランの仲間で、葉を持たず光合成をしない「植物をやめた植物」です。

養分は広葉樹の根につく菌で、ランの持つ菌が腐葉土の養分を使って生育します。似た植物にキンランやギンランがありますが、こちらは葉緑素を持ち光合成も行う一方で、やはり腐葉土と菌の養分が欠かせない植物で、自宅に持ち帰っても絶対に枯れてしまうデリケートな花のため採取は禁止とされています。

こうした貴重な植物が今も見られるのは、佐野市の豊かな自然が残されている証しです。

これからも、佐野市の自然を大切に守っていききたいものです。

(市民記者 福田満)

- ①マヤラン
- ②キンラン
- ③ギンラン



日本ご当地ラーメン総選挙2025 佐野ラーメンがご当地ラーメンの頂点に！

11月26日(水)～30日(日)の期間で、「日本ご当地ラーメン総選挙」の本戦が開催され、佐野ラーメン会を代表してエントリーした「佐野ラーメン佐よし」が見事優勝しました。

この総選挙はWEB投票による予選と東京都新宿区の久保公園で開催される本戦があり、本戦では来場者の実食による投票で優勝が決まります。佐よしは過去2回の総選挙でも本戦出場の経験がありますが、今回は、会場で「青竹打ち」を実演するなど味とともに来場者の満足度につなげ、悲願の優勝を達成しました。

佐よし店主の佐藤さんは、「優勝をきっかけに、佐野ラーメンをさらに盛り上げ、佐野の魅力も知ってもらいたい」と話してくださいました。



sanoteens 企画 高校生によるスマホ教室を開催

12月7日(日)、高校生によるスマホ教室が開催されました。

この教室は、佐野市高校生プロジェクト「sanoteens」のボランティアグループが企画したもので、高齢者との交流を図り、世代間のつながりを強化することを目的に実施されました。

当日は高校生が講師として、電話帳の登録方法、二次元コードの読み取り方法、地図アプリの利用方法など実際に端末を操作して参加者の疑問に答えました。

参加者からは、「撮影した写真のアルバムが作成できて良かった」、「分からないことが多かったため、高校生に教えてもらえて良かった」と好評でした。